

# 互山

新宿区立 戸山小学校

人生の宝物

副校長 矢島 直子

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症予防をしながら過ごす毎日でした。生活様式も日々変化し、子ども達も不安がたくさんあったと思います。保護者の方々や地域の方々に支えられ、子ども達は学校生活を送ることができました。本当にありがとうございました。

本年も教職員一同、感染症予防に留意し、子ども達の学びを止めないよう工夫しながら、教育活動に全力で取り組んでいきます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、私の小学生の頃の正月の思い出といえば、「書初め」です。1月5日に日本武道館で行われる席書会に毎年参加していました。席書会にむけて、年末になると、毎日毎日、朝から晩まで練習をしていました。当時はきれいに仕上げることを優先に、書いていたのを記憶しています。

毎年恒例ですが、中学2年の息子に書初めの宿題が出ました。題字は「人生の宝物」です。私も1枚書かせてもらいました。自分にとって「人生の宝物」は何か？と考えながら書いてみました。意味を考えながら書いてみると、なんだか字に気持ちが伝わるような気がしました。子どもの頃は何も考えずに、ただきれいに書くことばかりにとらわれていましたが、「意味を考えながら丁寧に書く」ことを意識すると、字にも表現力がついたような気がしました。生活の中で「毛筆」を使うことは時代と共に少なくなりましたが、「書道」は次の世代に残したい伝統文化であることに間違いはありません。

6年生は卒業に向けて卒業アルバムの撮影をしています。個人写真を撮影するときは各自「宝物」をもって撮影しています。宝物を手にするると自然と笑顔が溢れています。すてきな笑顔がたくさん見られました。ちなみに、私の「人生の宝物」は何だと思いませんか？私の宝物は息子たちです。「泣いたり、笑ったり」という言葉が子育てにはぴったりです。悩むこともたくさんありましたが、子ども達は私の人生に華やかな色を付けてくれています。今、子育て真っ最中の保護者の皆様は、これでいいのかな？と、心配になることもあるでしょう。しかし、周りを見ると同じ心配や悩みを持つ仲間がいたり、地域には子育てを終えた親としての先輩がいたりします。機会があれば相談してみるといいかもしれません。保護者・地域・学校が協力して、子ども達を「宝物」として育てていきたいと感じています。

## 学年の窓

### 2年

澁谷佳織

石谷清太朗

#### 生活科 ときどき わくわく まちたんけん

2年生は、11月19日(木)グループに分かれてオレンジコートにお店たんけんに行ってきました。お店のことがよくわかるように、お話をよく聞いたり、質問をしたりして、自分たちが住む町のことに對してさらに詳しくなることができました。

お店の方のお話を聞いて、「今までよりもお花屋さんが好きになった。」「質問に全部答えてもらって、お店について詳しくなれた。」という子がいたり、お店の裏側を見せてもらって、「仕事している様子やいつも見られないところもを見せてもらえたよ。」という子がいたりしました。

そして、自分たちが質問をして調べてきたことを新聞にまとめ他のお友達にも伝えることができました。

このような学習を毎年行うことができるのも、いつも支えてくださっている地域の方々のおかげです。今回お世話になったオレンジコートのお店の皆様、ありがとうございました。

